

件名 **農業用水路の水路掘り** 4月2日(日) 岩国市愛宕土地改良区

愛宕土地改良区(神村章男理事長)では、毎年4月の第1日曜日、岩国市の特産品である「岩国レンコン」のハス田へつながっている農業用水路の清掃作業(浄水掘り)が、各地区の生産組合の方で実施されています。

農業用水路の経路は、牛野谷揚水機場(新愛宕橋上流200m)から錦川の水を取水し、門前龍ヶ鼻揚水機場でポンプアップし、ここからは地下の埋設配管で途中尾津の昇圧ポンプを経て尾津地区の各ハス田へ供給されています。現在は、都市化に伴い生活排水(含む雨水)と農業用水を分離するため、尾津地区のハス田への農業用水は、バルブを開けると清流錦川のきれいな水が出るようパイプライン化(水道管方式)されています。門前地区の状況は本日清掃した地上の用水路の真下に直径約1mのハス田行きの農業専用の埋設配管が敷設されています。

そもそも本農業用水路は今からさかのぼること約200年前の1800年代初頭、岩国を治めていた吉川藩が進めた尾津干拓事業のために築造された由緒ある水路でもあります。

今日は門前中組の作業取材しました。広大な面積を持つ尾津地区を始め参加された生産組合の皆さま、早朝より大変ご苦労さまでした。作業に当たってはどこの地区も高齢化が進んでおり、要員の確保など将来の大きな課題もあります。

